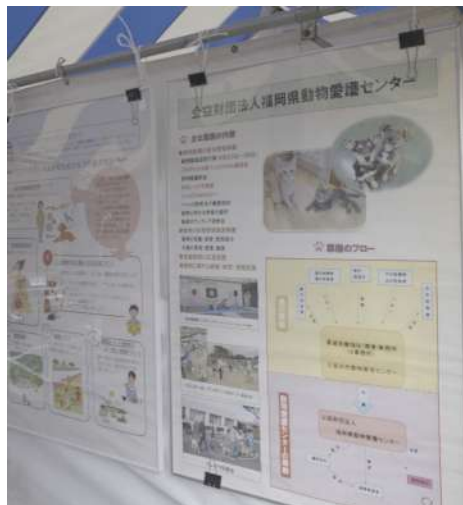


The background of the image shows two vertical banners. The banner on the left is white with a colorful logo at the top consisting of three overlapping circles: a red one with a family icon, a blue one with a dog icon, and a green one with a tree icon. Below the logo, the Japanese text '福' (Fuk) and '未来' (Mirai) are visible. The banner on the right is blue with the word 'FUKUOKA' in large white letters and 'コン' (Kon) below it. To the right of the blue banner, vertical Japanese text reads '公益社団法人日本青年会議所' (Nippon Seinen Kaigi).

ワンヘルス  
One Healthをテーマに  
「FUKUOKAコンファレンス2025 1級フードフェス」  
～Harmonious Future～開催!

TORIUS to BIZ Event Report vol.17



ワンヘルスの取組紹介



猫ちゃんも興味津々

少しずつ気候も秋に近づいてきた9月最後の週末、トリアス WESTゾーン特設会場にて福岡県が促進するOne Health(ワンヘルス)をテーマとした「FUKUOKAコンファレンス 2025 1級フードフェス～Harmonious Future～」が開催されました。当日の会場の様子をレポートします。

2025年9月27日(土)10:00～16:00

28日(日)10:00～15:00

主催：公益社団法人 日本青年会議所

九州地区 福岡ブロック協議会

共催：福岡県

## 「食の宝庫」福岡県の農畜産物・水産物を 通して動物や環境と人とのつながりを 考えるOne Health

このイベントは、公益社団法人日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会(以下福岡ブロック協議会)が主催し、福岡県が共催する無料イベントで、主催



販わう会場！

の福岡ブロック協議会が企画立案し実施されたものです。メインの企画は、福岡県内の一次生産者が参加する「1級フードフェス」。県が推進する「One Health(人・動物・環境のつながり)」をテーマに掲げ、安心・安全な食の提供や食育を目的とした展示・販売が行われました。来場者は、農産物・畜産物・水産物の販売を通して生産現場の環境や取り組みを知ることができたほか、生産者が手掛けた一次産業の農水産物のほかにオリジナルの料理や加工品も販売されました。

会場内には「ワンヘルス企業ブース」の出展や「福岡県庁紹介ブース」が設置され、県内の企業や自治体のワンヘルスへの取り組みも紹介されていました。



楽しい!美味しい!様々なブース



ワンヘルス認証の商品たち



地元の食材を使って  
美味しくいただきます!

## ステージからワンヘルスをより深く知ってもらう

オープニングセレモニーでは、JC九州地区福岡ブロック協議会の会長 植木 剛 氏の挨拶からスタート。福岡県内にある22の地域に分かれている組織のなかから県の組織を作っており、毎年開催している「FUKUOKAコンファレンス」の今年度のテーマを「ワンヘルス」と掲げていました。また、福岡ブロック協議会として、単体で活動するのではなく、地域や企業間の繋がりを大切に活動していることもあり、今年度のコンファレンスは全国に先駆けてワンヘルス推進を条例として制定した福岡県に提案し協働の取り組みとなった経緯を説明されました。



青年会議所 植木会長



来賓の挨拶では共催事業の当事者である福岡県の服部誠太郎知事から祝辞と今回のFUKUOKAコンファレンス2025の目的が、県民がいつまでも笑顔で楽しく暮らしていける福岡県を実現しようということで、服部知事が目指している、大人も子どもも笑顔で毎日安心していつまでも暮らしていける街にすることと、福岡ブロック協議会の活動の中に含まれる持続可能なまちづくりという言葉が、まさに、SDGs、ワンヘルスであり、そんなふるさと福岡をつくっていく政策と一致していること。また、この地球上に暮らしている人々、動物たちの命、健康を守り健康バランスをしっかりと守っていくことこそがワンヘルスであり、それを今回、イベントのテーマに掲げたことに対して、心からの感謝を述べられました。「ワンヘルスの理念と実践を広げ、福岡県から、そして、世界中へ共通の目的を持って、ワンヘルスの大きなうねりを起こしていきたい」と、今後のビジョンについて語られました。



福岡県知事 服部 誠太郎氏

それから、福岡県議会議長で世界獣医師会次期会長でもある、蔵内勇夫氏からは福岡県から始めたワンヘルス運動が国を動かし、アジアをまとめ、世界に広がっている。近年では、岸田政権下に開催された広島でのG7サミットでも関心を集め、毎回国際会議の場で話題に上がっていることや、福岡県が主催のワンヘルス国際フォーラムのお礼にビル・ゲイツ財団に伺った際、ビル・ゲイツ氏に、福岡県のワンヘルスの取組みを絶賛され、高校生のワンヘルスへの真剣な取組に賛辞を贈られたことをお話しくださしました。会場には日本で最初にできたワンヘルスのボランティア団体も参加されており、「福岡県から日本、アジア、世界に向けて地球の健康を守り、人間の健康を守っていこう、そして、次代の子どもたちのための運動を単年事業ではなく、末永く続けていくことをお願いしたい。」と、福岡ブロック協議会への熱い要望も述べられていました。



福岡県議会議長 蔵内 勇夫氏

また、今回の会場であるトリアスが位置する久山町は福岡県内の自治体の中でワンヘルスの推進に手を挙げている市町村の1つです。そこで、久山町長 西村 勝氏からも、地元を

代表し、ご挨拶がありました。

「久山町では60年以上をかけて、国土・社会・人間の3つの健康を軸に個性的なまちづくりを展開してきました。結果、豊かな自然環境を残しながら、緩やかに人口を増やし、高齢化率の低下、出生率の上昇へとつながっています。しかし、これからは、国土・社会・人間の3つの健康に加え、動物の健康つまり生態系を考えたまちづくりをしっかりやっていくことが大切だと考えています。そこで久山町は、令和4年3月にカーボンネガティブ&ネイチャーポジティブ宣言、今年6月にワンヘルス推進宣言を行い、さまざまな取り組みを展開し始めました。持続可能な社会の実現に向け、これからさらに力を入れ取り組んでいきます。」と、FUKUOKAコンファレンス2025を久山町で実施できた喜びと歓迎の言葉を伝えられました。



久山町長 西村 勝氏

最後は、国際ロータリークラブガバナー 濱野 良彦氏から、ロータリークラブの今後のワンヘルス活動についてお話いただきました。「ポリオ（小児麻痺）をゼロにする活動を何十年とやっており、患者があと3人とまでなりながら、ゼロにならない。なぜならば、10年間も滞っているのは、世界の2カ所で戦争が起こっているからで、ロータリーもビル・ゲイツ財団やロータリアンの皆様から、たくさんの寄付をいただき、大規模なワクチン接種で感染症予防活動を行っています。いつかは参加したいと思っていたワンヘルス活動にお声かけいただき、ロータリアンの120年間の感染症に対する活動、日本の戦後から70年以上続く、ポリオワクチン接種活動を行ってきたことの意味を感じます。いま、戦争中のパキスタンでの接種状況は生ワクチンの経口接種です。住民登録などないので、一軒ずつ訪問し飲ませるわけですが、家に入れるのは女性だけ。ワクチンは数十円ですが、人件費は何千円とかがかります。女性のボランティアをどれだけたくさん確保するかがとても大変です。それを何年も続けていることもあり、福岡県のワンヘルスには、とても共感をおぼえていました。このワンヘルスという活動に、ロータリーも仲間に入れていただくことが、とても大きな繋がりになると思っています。今後ともよろしく願い致します。」とワンヘルスへの期待と、抱負を述べられました。



国際ロータリークラブガバナー 濱野 良彦氏



来賓の皆さんのテープカット！

## 学びとエンタメが詰まったステージイベント

その後のステージでは、両日にわたり、さまざまなプログラムが行われました。27日の土曜日にはビル・ゲイツ氏も絶賛されたという高校生のワンヘルス活動を、授業や部活動を通して行っている福岡県内の選ばれた高校生たちがそれぞれの取り組みを発表しました。

### ○福岡県立糸島農業高等学校

つながる!広がる!糸農食育道×ワンヘルスということで、地域全体で学び合えることの大切さを体感し農業高校ならではの食に関する活動を地域との連携、世代間交流として行っており、学校を食と農の産学官連携の拠点としてワンヘルス事業に取り組んでいる。



福岡県立糸島農業高等学校

### ○福岡県立福岡農業高等学校

4つの学科の特徴に合わせたワンヘルス活動を行っている。ワンヘルスの体験ができるメニューを幼稚園や小学生の子どもたちに提供しており、自分たちが学んだことを自分たち高校



福岡県立福岡農業高等学校

生が発信していきたい。食を楽しんで健康になるという取り組みを行っている。

### ○第一薬科大学附属高等学校保育科動物愛護コース

ステージには、みんなで飼育している犬の「にじろうくん」と一緒に登場し発表。保護犬・保護猫の飼育を通して命と向き合う責任を学んでいる。150名の在籍する生徒たち全員が飼い主という気持ちで、ただ可愛がるのではなく、動物の命と向き合う責任や生死を体験することで動物との共生・動物福祉を学んでいる。



第一薬科大学附属高等学校

### ○福岡県立柏陵高等学校

油山での自然との触れ合い活動や、屋久島の大きな自然の生態系から学ぶこと、ピオトープ活動など学習を通して環境を学び、植物・生物の生態系などを知ること、自然から与えられる本物の情報からSDGsの達成目標をクリアできるような活動をしている。環境を学ぶことで人を含めた生物多様性の大切さも体感している。



福岡県立柏陵高等学校

### ○福岡第一高等学校造形科・美術部

日頃勉強している、イラスト、マンガ、声優の技術を生かして人、動物、自然との共生の観点でのワンヘルスをアニメーション動画に仕立て、小・中学校などで活用してもらっている。今回は、その内容を美術部の協力の元、演劇仕立てで発表。犬の視点でのワンヘルスという物の考え方の動画を作成しYouTube配信。今後は、動画の視聴報酬の一部を基金としたいと考えている。



福岡第一高等学校

## ○福岡県立山門高等学校

Oneヘルスクラブでうなぎを増やすという実験活動で、100年の森づくりに力を入れている。うなぎの飼育・保護・放流活動・広葉樹林の育成に尽力することで飯江(ハエ)川上流100年の森を実現し持続可能な社会を構築することに繋がっていく。フルボ酸がウナギに与える影響の研究など行っており、「私たちの思いが社会を動かしている」ことを自負している。



福岡県立山門高等学校

## □後評 福岡教育大学 教育学部 教授 伊藤 克治先生

ワンヘルス教育の推進者としてワンヘルスの考え方を教育現場へ広める活動をされており、今回の高校生たちの発表を、それぞれ学校ごとに良かった点を、ポイントを押さえながら評価されました。そして、最後に「これから、高校生が地域とつながって共に学ぶことは、地域が元気になるだけでなく、高校生の皆さんの学びも深まっていくことになり、社会がより良くなっていく。そのように、たくさんの元気を与えてもらえるような発表を聞き感動しています。5年前の県庁の会議室で、これからワンヘルスをどうやっていこうかと頭を抱えていたときのことがとても懐かしいです。学校の中だけでなく、このような一般の場所で発信することができることにありがたみを感じています。今後、高校生の皆さんの更なる実践と広がり期待しています。そしてさらに、福岡県内外に、日本国内、世界へ広がることを期待して私の後評とさせていただきます。」と締められました。



福岡教育大学 伊藤 克治 教授

そのほかにも、たくさんのステージイベントが用意されていました。27日土曜日は、◇ゼブラ企業フォーラム(阪本 菜さん、おーちかmapさん)Z世代の実践者である阪本 菜氏(株式会社 Zebras and Company)と、旅好き女子ユニット・おーちかmapのお二人とのトークショー。

昨今、話題になっている「ゼブラ企業」についてトークが展開されました。そもそも、ゼブラ企業とは何なのか?“ユニコーン企業”と対比しながら社会課題の解決と経済成長の両立を



ゼブラだけにシマウマジャケットで登場!

目指す企業というゼブラ企業概念をわかりやすく解説してくださっていました。また、実践例として福岡発の未利用魚ミールパックの通販・サブサイトFishlle!(フィッシュル) のご紹介なども興味深いお話でした。

また、プロ野球選手から地方独立リーグの監督を経て、現在、柔道整復師として新たな道を歩まれている◇元福岡ソフトバンクホークス投手・馬原 孝浩さんのトークショー。

野球を続ける中で、学生時代の食生活事情や、プロ野球現役時代の栄養学に基づいた食事について、体を強くする、大きくするためにどんな食事をしていたかなどのお話、そのほかに、現役時代に負ったケガをきっかけに、体のメンテナンスについて、徹底的に学び、ケガをしない体づくりに力を注いだことが、現在の柔道整復師への道につながったことなど楽しく、時に真剣にお話ししてくださいました。また、福岡ブロック協議会のコーディネーターのお二人のスポーツをするお子さんのことについていろいろな質問に対しても、ご自身のお子さんのどのようにアドバイスをしてきたかなど情報を交えながら、気さくに回答してくださっていました。最後に会場からの質問にも回答されたのですが、一緒にキャッチボールをしてほしいというお子さんの要望にも応えてくださり、勇気を出して手を挙げた彼にとっても、とても良い思い出になったのではないのでしょうか。



阪本 菜さんとおーちかmapの二人の軽妙なトーク



プロ野球現役時代の話や体のケアについてのお話し



いつかは夢のプロ野球選手!

そのほかのステージコンテンツは27,28日両日ともに◇ワンヘルスマスター講演(27日 堀本 高良さん、28日 志垣 佳奈さん)。

堀本さんから、子どもから大人まで『誰にでも』分かりやすくワンヘルスの歴史や基礎についてお話しいただきました。また、志垣さんは元NHKのキャスターで、現在は毎週水曜日に



堀本 高良氏からわかりやすいワンヘルスについてお話



ワンヘルスを周知するコーナーをラジオ番組内で発信しています。ペットとのふれあい方、防災時におけるペットとの過ごし方などをお話いただきました。

28日にはエンターテインメントとSDGsの融合を背負って活躍するアイドルグループ◇Princess KAGURA Japanのライブ。今回は「ワンヘルス」のために新しくリリースした楽曲を披露してくれました!



新曲は「ワンヘルス」がテーマ

また、サイエンスコミュニケーターの◇かず先生のサイエンスショー。元中学校の理科教師だったかず先生。科学教育25年で培った経験で全国各地でサイエンスショー・化学ワークショップなどのイベントに出演。大人も子どもも楽しめるサイエンスショーに、驚いたり笑ったりとみなさん楽しんでいました。

真面目に学べる内容から、子どもが夢中になるサイエンスショーまで幅広く、会場は大いに盛り上がっていました。

### スタンプラリーでワクワク体験や ボンネットバス・ふわふわ遊具でウキウキ!

イベントは両日ともに、会場全体を楽しんでもらえる工夫がいろいろ!会場を巡ってスタンプを集めると抽選会に参加できる「スタンプラリー」も開催。豪華な景品が用意されていて、親子連れで大盛り上がり!ビーバーがかじった木で作ったキーホルダーや動物キーホルダー、缶バッジ、大量のヤマアラシの針!などなど…楽しみながらワンヘルスについて学べる工夫がされていました。



何が当たるかな〜?



ヤマアラシの針当たったよ〜♪



ワンヘルスを伝えるボランティアの皆さん!



可愛い動物缶バッジ♡

会場を巡回するボンネットバスやトゥクトゥクに乗車して楽しむ方も!また、ふわふわエア―遊具でキッズたちも大よろこびでした。



楽しく会場内を巡回しました!



ボンネットバス(左)&トゥクトゥク(右)

### 食を通した健康や地域とのつながりを意識しながら これからもワンヘルスを実践していきたい

「FUKUOKAコンファレンス2025」は、福岡の豊かな食と文化を体感できるだけでなく、健康や環境について楽しく学べる素敵なイベントでした。地域の魅力を再発見でき、子どもから大人まで笑顔になれる2日間。来場者の皆さんは多角的にワンヘルスを理解する機会を得られたのではないのでしょうか。トリアスも今後のワンヘルス活動への協力・推進の一助になればと考えています。